

## 2024年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月13日

上場会社名 アグレ都市デザイン株式会社 上場取引所 東  
コード番号 3467 URL <https://about.agr-urban.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大林 竜一  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 柿原 宏之 (TEL) 03-6258-0071  
定時株主総会開催予定日 2024年6月25日 配当支払開始予定日 2024年6月26日  
有価証券報告書提出予定日 2024年6月25日  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期	27,605	—	1,610	—	1,292	—	873	—
2023年3月期	—	—	—	—	—	—	—	—
(注) 包括利益	2024年3月期		873百万円(—%)		2023年3月期		-1百万円(—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年3月期	151.78	—	14.6	5.2	5.8
2023年3月期	—	—	—	—	—

(参考) 持分法投資損益 2024年3月期 -1百万円 2023年3月期 -1百万円

(注) 2024年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期数値及び対前期増減率については記載して  
おりません。また、2024年3月期の自己資本当期純利益率及び総資産経常利益率は、連結初年度のため、  
それぞれ期末自己資本及び期末総資産額に基づいて計算しております。  
2024年3月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載して  
おりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期	25,037	5,993	23.9	1,041.71
2023年3月期	—	—	—	—

(参考) 自己資本 2024年3月期 5,993百万円 2023年3月期 -1百万円

(注) 2024年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期数値については記載して  
おりません。

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年3月期	△588	△493	1,361	6,247
2023年3月期	—	—	—	—

(注) 2024年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期数値については記載して  
おりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年3月期	—	0.00	—	78.00	78.00	448	—	—
2024年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00	345	39.5	5.8
2025年3月期(予想)	—	0.00	—	78.00	78.00		35.3	

(注) 2024年3月期より連結財務諸表を作成しているため、2023年3月期の配当性向(連結)及び純資産配当率(連結)  
については記載して  
おりません。また、2024年3月期の純資産配当率(連結)は、連結初年度のため、期末1株当  
たり連結純資産に基づいて計算して  
おります。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	30,860	11.8	2,269	40.9	1,868	44.6	1,270	45.4	220.76

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
 新規 -社（社名）、除外 社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期	5,754,000株	2023年3月期	5,754,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期	303株	2023年3月期	303株
③ 期中平均株式数	2024年3月期	5,753,697株	2023年3月期	5,748,620株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご参照下さい。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、2024年5月16日（木）にTDnetで開示するとともに、当社ホームページ(<https://about.agr-urban.co.jp/>)にも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本的方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	6
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	7
(1) 連結貸借対照表 .....	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	14
(重要な後発事象) .....	14
4. 補足情報 .....	15
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	15

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

文中の将来に関する事項は、当連結会計年度の末日現在において当社グループが判断したものであります。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の沈静化による行動制限の緩和・撤廃により経済活動に回復の兆しが見られましたが、地政学リスクの高まりや世界的な物価高騰、それに対する金融引き締めによる諸外国の景気下振れリスクなど、景気の先行きには依然として不透明感が漂っております。

当社グループの属する不動産業界におきましては、低金利融資の継続や省エネ住宅を対象とした補助金・税制優遇策、在宅勤務の浸透に伴うライフスタイルの多様化による消費者の住宅に対する関心の高まりなどが見られた一方で、実質賃金が伸び悩む中、事業用地価格や建材・住設機器価格の上昇による住宅価格の高騰により、コロナ特需で活況を呈していた住宅市況に一服感が見られました。

このような事業環境のもと、コア事業であるハウジング事業におきましては、引き続き良質な事業用地の取得に注力するとともに、自社設計・自社施工管理によるデザイン性・機能性に優れた戸建住宅の供給に努め、お客様に対する商品訴求力の更なる強化を目的に、SNSを積極的に活用するなど自社販売手法のブラッシュアップに努めてまいりました。

また、主に投資家向けの収益マンションの建設・販売及びマンション等の建設を目的とする事業用地の販売を手掛けるアセットソリューション事業におきましては、希少性の高い都心部における用地情報の収集に注力するとともに、戸建販売事業で培ったデザイン性の高い商品企画に注力してまいりました。

この結果、当連結会計年度の経営成績は、売上高27,605,724千円、売上総利益3,991,795千円、営業利益1,610,752千円、経常利益1,292,009千円、親会社株主に帰属する当期純利益873,285千円となりました。

なお、当社グループは、2023年11月21日付でハウスバード株式会社の全株式を取得したことに伴い、当連結会計年度より連結財務諸表を作成しております。よって前連結会計年度との比較分析は行っておりません。

セグメント別の業績を示しますと、次のとおりであります。

なお、2024年4月1日より、従来「戸建販売事業」としていた報告セグメントの名称を「ハウジング事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

また、2023年11月に子会社化したハウスバード株式会社の事業を「宿泊事業」としております。

## (ハウジング事業)

ハウジング事業においては、自社ブランドである「アグレスイオ・シリーズ」を中心に戸建住宅295棟、戸建用地27区画、その他1棟(注文住宅1棟の他、少額リフォーム工事等を含む)の引渡しなどにより、売上高23,106,757千円、経常利益1,420,914千円を計上いたしました。

なお、内容別の引渡件数・売上高は以下のとおりであります。

内容	件数(棟・区画)	売上高(千円)
戸建住宅	295	20,159,815
戸建用地	27	2,845,885
その他	1	101,057
合計	323	23,106,757

## (アセットソリューション事業)

アセットソリューション事業においては、投資家向け収益マンション4棟、マンション等の建設を目的とする事業用地4区画の引渡しなどにより、売上高4,450,688千円、経常利益666,047千円を計上いたしました。

なお、内容別の引渡件数・売上高は以下のとおりであります。

内容	件数(棟・区画)	売上高(千円)
収益マンション	4	3,373,636
マンション等事業用地	4	1,066,709
その他	—	10,342
合計	8	4,450,688

## (宿泊事業)

宿泊事業においては、空き家等や空き別荘を活用した宿泊施設の開業及び運営コンサルティングなどにより、売上高48,277千円、経常利益792千円を計上いたしました。

なお、内容別の件数・売上高は以下のとおりであります。

内容	件数	売上高(千円)
コンサルティング	—	36,471
その他	—	11,806
合計	—	48,277

## (2) 当期の財政状態の概況

資産、負債、純資産別の財政状態は以下のとおりです。

## (資産)

当連結会計年度の資産は25,037,190千円となりました。主な内訳は、現金及び預金6,247,740千円、販売用不動産1,385,163千円、仕掛販売用不動産16,228,464千円であります。

## (負債)

当連結会計年度の負債は、19,043,520千円となりました。主な内訳は、工事未払金1,336,601千円、短期借入金5,723,000千円、1年内返済予定の長期借入金6,788,048千円、長期借入金4,190,539千円であります。

## (純資産)

当連結会計年度の純資産は、5,993,670千円となりました。主な内訳は、資本金390,717千円、資本剰余金350,717千円、利益剰余金5,252,414千円であります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、6,247,740千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における営業活動によるキャッシュ・フローは588,499千円の資金の減少となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,292,009千円を計上した一方、事業用地の仕入れの進捗に伴い棚卸資産が1,148,839千円増加したこと、利息の支払額286,070千円、法人税等の支払額543,627千円によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における投資活動によるキャッシュ・フローは493,471千円の資金の減少となりました。これは主に、子会社株式の取得による支出497,986千円によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度末における財務活動によるキャッシュ・フローは1,361,898千円の資金の増加となりました。これは主に、長期借入れによる収入10,443,000千円があった一方、短期借入金の純減額が702,600千円、長期借入金の返済による支出が8,103,396千円あったことによるものであります。

(参考)キャッシュ・フロー関係指標の推移

	2024年3月期
自己資本比率(%)	23.9
時価ベースの自己資本比率(%)	35.9
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	—

(注) 各指標の算出方法は以下のとおりであります。なお、算出の結果、数値がマイナスとなる場合には「—」で表示しております。

- ・自己資本比率 : 自己資本/総資産
- ・時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額/総資産
- ・キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債/キャッシュ・フロー
- ・インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー/利払い

※株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

※キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

※有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利息を支払っているすべての負債を対象としております。

※いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症はほぼ終息したものの、ウクライナやパレスチナ問題など地政学リスクの高まりや、急激な円安進行を背景に更なる物価上昇が懸念されるなど、依然として景気の先行きの不透明感が続くものと予測されます。

当社グループが属する不動産業界におきましても、住宅価格の高止まりやマイナス金利政策の解除に伴う金利の先高観などに起因する消費マインドの冷え込みが予想され、また、建設業界や物流業界における2024年問題の影響で工期の延長や更なるコストアップが想定されます。

このような事業環境のなか、当社グループは、ハウジング事業において商品訴求力の更なる強化を図るとともに、2024年4月に新設した営業部を中心に自社販売手法の統一化、マーケティング・広告手法の効率化などに努め、アセットソリューション事業においては引き続き有望且つ活況なマーケットである都心部における業容拡大を図ってまいります。

更に、2023年11月にグループインしたハウスパード株式会社を中心に、空き家や空き別荘などを活用した宿泊施設の開業支援コンサルティング事業及び宿泊施設の運営管理を推進し、宿泊事業を当社グループの事業の第三の柱に育成すべく経営資源を投下してまいります。

これらを踏まえ、次連結会計年度の見通しにつきましては、売上高30,860百万円(当連結会計年度比11.8%増)、営業利益2,269百万円(同40.9%増)、経常利益1,868百万円(同44.6%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,270百万円(同45.4%増)を計画しております。

#### (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社グループは、株主の皆様への利益還元を経営上の重要政策のひとつとして認識しており、現在及び今後の事業収益をベースに、将来の事業展開に必要な内部留保を確保しつつ、安定した配当を継続していくことを基本方針とし、各期の業績や社会情勢を勘案して、利益配分を検討してまいります。

具体的には、これまでは当期純利益の30%を配当の目途とする配当性向30%を標榜しておりましたが、株主の皆様のご支援に報いるべく、今後はこれを35%に引き上げる方針であります。

なお、当連結会計年度の期末配当につきましては、当期純利益及び1株当たり当期純利益が期初予想を下回りましたが、株主の皆様のご支援にお応えすべく、1株当たり配当額は60円(配当性向39.5%)として、2024年6月25日開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

また、次連結会計年度の配当予想につきましては、1株当たり年間配当額78円00銭(うち期末配当78円00銭)を計画しており、現時点における当期純利益予想値から見た配当性向は35.3%となります。なお、業績予想が下期偏重

であること、中間配当実施コスト等を総合的に勘案した結果、中間配当は実施せず全額期末配当とする計画といたしました。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際的な事業展開や資金調達を行っていないため、また国内の同業他社との比較可能性に資するよう、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。



## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

		当連結会計年度 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		6,247,740
売掛金		31,939
完成工事未収入金		5,927
販売用不動産		1,385,163
仕掛販売用不動産		16,228,464
未成工事支出金		515
前渡金		239,601
前払費用		35,453
未収消費税等		15,581
その他		26,580
流動資産合計		24,216,967
固定資産		
有形固定資産		
建物		98,435
減価償却累計額		△28,611
建物(純額)		69,823
車両運搬具		53,342
減価償却累計額		△45,531
車両運搬具(純額)		7,811
工具、器具及び備品		15,491
減価償却累計額		△6,099
工具、器具及び備品(純額)		9,392
土地		47,317
リース資産		26,836
減価償却累計額		△13,684
リース資産(純額)		13,152
建設仮勘定		4,290
有形固定資産合計		151,785
無形固定資産		
リース資産		2,969
ソフトウェア		5,788
のれん		461,283
無形固定資産合計		470,041
投資その他の資産		
出資金		5,070
長期前払費用		3,522
繰延税金資産		59,062
保険積立金		2,400
差入敷金保証金		117,530
その他		10,810
投資その他の資産合計		198,396
固定資産合計		820,223
資産合計		25,037,190

(単位：千円)

当連結会計年度  
(2024年3月31日)

負債の部	
流動負債	
工事未払金	1,336,601
短期借入金	5,723,000
1年内償還予定の社債	100,000
1年内返済予定の長期借入金	6,788,048
リース債務	9,096
未払金	151,311
未払費用	50,796
未払法人税等	153,163
未払配当金	1,243
前受金	77,034
未成工事受入金	2,050
賞与引当金	104,279
完成工事補償引当金	13,840
その他	45,925
流動負債合計	14,556,392
固定負債	
社債	260,000
長期借入金	4,190,539
リース債務	8,326
繰延税金負債	2,686
その他	25,575
固定負債合計	4,487,127
負債合計	19,043,520
純資産の部	
株主資本	
資本金	390,717
資本剰余金	350,717
利益剰余金	5,252,414
自己株式	△179
株主資本合計	5,993,670
純資産合計	5,993,670
負債純資産合計	25,037,190

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

	(単位：千円)
	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
売上高	27,605,724
売上原価	23,613,928
売上総利益	3,991,795
販売費及び一般管理費	2,381,043
営業利益	1,610,752
営業外収益	
受取利息	47
受取配当金	116
受取手数料	9,805
違約金収入	6,700
その他	7,203
営業外収益合計	23,872
営業外費用	
支払利息	293,639
融資手数料	37,950
その他	11,026
営業外費用合計	342,615
経常利益	1,292,009
税金等調整前当期純利益	1,292,009
法人税、住民税及び事業税	419,282
法人税等調整額	△558
法人税等合計	418,724
当期純利益	873,285
親会社株主に帰属する当期純利益	873,285

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	
当期純利益	873,285
包括利益	873,285
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	873,285

## (3) 連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	390,717	350,717	4,827,917	△179	5,569,173	5,569,173
当期変動額						
剰余金の配当			△448,788		△448,788	△448,788
親会社株主に帰属する当期純利益			873,285		873,285	873,285
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						—
当期変動額合計	—	—	424,496	—	424,496	424,496
当期末残高	390,717	350,717	5,252,414	△179	5,993,670	5,993,670

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)
	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前当期純利益	1,292,009
減価償却費	23,812
のれん償却額	13,179
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,197
完成工事補償引当金の増減額 (△は減少)	△4,160
受取利息及び受取配当金	△163
支払利息	293,639
売上債権の増減額 (△は増加)	12,699
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△1,148,839
前渡金の増減額 (△は増加)	41,684
仕入債務の増減額 (△は減少)	△267,008
未払金の増減額 (△は減少)	17,972
前受金の増減額 (△は減少)	△40,406
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	1,917
前払費用の増減額 (△は増加)	△1,649
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△400
未払又は未収消費税等の増減額	△15,337
その他	9,885
小計	241,032
利息及び配当金の受取額	165
利息の支払額	△286,070
法人税等の支払額	△543,627
営業活動によるキャッシュ・フロー	△588,499
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期積金の払戻による収入	3,000
定期積金の預入による支出	△150
有形固定資産の売却による収入	1,624
有形固定資産の取得による支出	△2,547
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△497,986
敷金保証金の返還による収入	6,281
敷金保証金の差入による支出	△1,252
その他	△2,440
投資活動によるキャッシュ・フロー	△493,471
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△702,600
長期借入れによる収入	10,443,000
長期借入金の返済による支出	△8,103,396
社債の発行による収入	300,000
社債の償還による支出	△100,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,787
割賦未払金の返済による支出	△18,220
配当金の支払額	△448,097
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,361,898
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	279,927
現金及び現金同等物の期首残高	5,967,813
現金及び現金同等物の期末残高	6,247,740

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは事業別のセグメントから構成されており、従来の「ハウジング事業」・「アセットソリューション事業」に、2023年11月にハウスバード株式会社が連結子会社になったことに伴い、ハウスバード株式会社が行う事業を「宿泊事業」として新たに追加しております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

「ハウジング事業」は主に、戸建住宅の建築・販売、それに伴うアフターメンテナンス及び戸建用地の販売を行っております。また、これらの事業に付随して発生する注文住宅・リフォーム工事の受注等を行っております。

「アセットソリューション事業」は主に、投資家向けの収益マンションの建設・販売及びマンション等の建設を目的とする事業用地の販売を行っております。また、これらの事業に付随して発生する不動産賃貸等をおこなっております。

「宿泊事業」は主に、空き家や空き別荘を活用した宿泊施設の開業及び運営コンサルティングを行っております。

(3) 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年4月1日より、従来「戸建販売事業」としていた報告セグメントの名称を「ハウジング事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であり、報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報  
当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結財務諸表 計上額
	ハウジング事業	アセットソリュ ーション事業	宿泊事業	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	23,106,757	4,450,688	48,277	27,605,724	—	27,605,724
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	23,106,757	4,450,688	48,277	27,605,724	—	27,605,724
セグメント利益	1,420,914	666,047	792	2,087,754	△795,744	1,292,009
セグメント資産	14,229,112	3,740,406	75,885	18,045,404	6,991,786	25,037,190
セグメント負債	12,456,745	3,479,307	17,474	15,953,526	3,089,993	19,043,520
その他の項目						
減価償却費	18,419	—	401	18,821	4,991	23,812
のれんの償却 額	—	—	13,179	13,179	—	13,179
受取利息	—	—	—	—	47	47
支払利息	214,720	50,811	76	265,608	28,030	293,639
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	682	—	—	682	1,865	2,547

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

- (1)セグメント利益の調整額△795,744千円は、各報告セグメントに配分していない当社グループの管理部門に係る費用であります。
- (2)セグメント資産の調整額6,991,786千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に現金及び預金であります。
- (3)セグメント負債の調整額3,089,993千円は、各報告セグメントに配分していない全社負債であり、主に借入金及び未払法人税等であります。
- (4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額1,865千円は、全社システムへの投資額です。

(1株当たり情報)

	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり純資産額	1,041.71円
1株当たり当期純利益金額	151.78円

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり当期純利益金額	
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	873,285
普通株主に帰属しない金額(千円)	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	873,285
普通株式の期中平均株式数(株)	5,753,697

(注)潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## ① 生産実績

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)の生産実績は次のとおりであります。

セグメント区分	件数(棟・区画)	生産高(千円)
戸建住宅	292	20,165,819
戸建用地	27	2,845,885
その他	1	101,057
ハウジング事業 計	320	23,112,762
収益マンション	4	3,373,636
マンション等事業用地	4	1,066,709
その他	—	10,342
アセットソリューション事業 計	8	4,450,688
合計	328	27,563,450

(注) 1. 当連結会計年度中に完成した物件の販売価格を以て生産高としております。

2. 当社グループのセグメントのうち「宿泊事業」は、生産実績を定義することが困難であるため上記生産実績を記載しておりません。

## ② 受注実績

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)の受注実績は次のとおりであります。

セグメント区分	期首受注高		期中受注高		期末受注高	
	件数 (棟・区画)	受注高(千円)	件数 (棟・区画)	受注高(千円)	件数 (棟・区画)	受注高(千円)
戸建住宅	10	735,457	298	20,323,335	13	898,977
戸建用地	1	34,610	27	2,887,775	1	76,500
その他	1	20,635	3	122,959	3	42,538
ハウジング事業 計	12	790,703	328	23,334,070	17	1,018,016
収益マンション	1	2,040,000	4	2,433,636	1	1,100,000
マンション等事業用地	1	610,000	3	456,709	—	—
その他	—	—	—	10,342	—	—
アセットソリューション事業 計	2	2,650,000	7	2,900,688	1	1,100,000
コンサルティング	—	—	13	123,862	13	87,390
その他	—	—	—	11,806	—	—
宿泊事業 計	—	—	13	135,668	13	87,390
合計	14	3,440,703	348	26,370,427	31	2,205,406

## ③ 販売実績

当連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)の販売実績は次のとおりであります。

セグメント区分	件数(棟・区画)	販売高(千円)
戸建住宅	295	20,159,815
戸建用地	27	2,845,885
その他	1	101,057
ハウジング事業 計	323	23,106,757
マンション	4	3,373,636
マンション等事業用地	4	1,066,709
その他	—	10,342
アセットソリューション事業 計	8	4,450,688
コンサルティング	—	36,471
その他	—	11,806
宿泊事業 計	—	48,277
合計	331	27,605,724